

九州全体で力を合わせ 要請が叶うよう取り組むとの回答

～林活議連九州へ要請書を提出～

林野労組九州

発行所
熊本市西区京町本丁2の7
全国林野関連労働組合
九州地方本部
電話 096-354-1150

発行者 加来尚貴
発行日 10日
定価 1部20円
組合員の購読料は
組合費の中に含む

緑を育て、守る、 林野労組

九州地本では11月19日、森林・林業活性化促進議員連盟九州連絡会議の吉村会長（長崎県議・佐世保市）へ「森林・林業基本計画」の推進に係る要請行動を実施しました。加藤委員長、中川副委員長、古村書記長、松本執行委員が参加し、冒頭、加藤委員長より要請書を手交しました。



要請書を手交する加藤委員長

要請内容は、①「森林・林業基本計画」に掲げる施策の具体化と必要予算の確保。また、間伐や再造林をはじめとする森林整備の推進と、地球温暖化防止森林吸収源対策に係る必要予算の確保②森林環境譲与税について、付帯決議を踏まえた木材利用の拡大及び、森林環境税の使途や譲与基準の見直しを行うこと③森林経営管理制度による市町村の森林整備を促進すること④森林資源の循環利用確立のため、国の責務として苗木の安定供給体制の確立や鳥獣害対策を講じること⑤地域材の安定供給体制の確立に向け、販売をコーディネートする組織への支援や人材育成に努めること⑥来年3月末に法の効力期限を迎える「山村振興法」の期限を延長するとともに、山村の有する多面的機能の発揮に係る国の責任を明確にし、対策を講じること⑦「緑の雇用事業」による雇用対策を強化すること⑧林業労働者

の安全装備予算及び熱中症対策に係る装備の支援を充実させること⑨林業分野における外国人材の受け入れは、拙速な判断は避け、安易な受け入れ拡大は行わないこと⑩水源林造成事業等による公的森林整備を充実させることにも、事業の長期的・安定的な実務に向けた施策を講じること⑪国有林野事業について国が責任を持って管理経営を一元的に行うとともに、組織機構の拡充を図り、現場管理機能の強化・拡充に向けた対策を講じること。また、樹木採取権制度について、地域の林業事業者の

育成整備に資する制度とすること等、11項目を要請しました。吉村会長からは「近年、林業に造詣の深い議員が少なくなってきた中、我々役員はより一層の取組が必要であると認識している。九州の森林のため、現場で働く者と同じ熱量を持って中央へ要請に行く。また、今後も林業関係団体と連携し、九州全体で力を合わせ、要請が叶うよう努力して参りたい」と力強い回答がありました。



熱心に聞きとる吉村会長



森田の実態を発言する地本三役



林野労組としても、引き続き協力関係を維持することを確認しました。

大分分会で大会終了し団結が深まる
～分会大会～

大分分会で、山形通信員
10月17日、大分森林管理署会議室において、組合員16名（委任状3名）の出席のもと第20回林野労組大分分会定期大会を開催しました。

冒頭、武原委員長より「昨年9月の定期大会以降、地本の各種指示や指令に基づき、2023生活闘争をはじめとする、組合員の賃上げや要員不足による労働加重問題、その他職場諸課題の改善や解消に向け公務員連絡協議会と歩調を合わせ、連合大分と連帯し取り組んできました。組織態勢の確立については、林野労組が結成され18年が経過し、九州地本においては、90%の高い組織率となっています。しかし全国的には70%台までに落ち込んでおり、定年退職者の増加や基本3年サイクルによる人事異動により、分会の執行体制維持が当分会においても非常に厳しくなっています。今後先を見通した組織運営・組織態勢の構築が重要となっている。当分会においては、空席ポストの解消、要員不足に起因する課題の進展、賃金・労働条件の維持・確保要求など地本の指示等に基づき分会においても労働組合の果たすべき役割を自覚しながら努力していきたい」と挨拶がありました。

来賓として、歌野地本執行委員はじめ、連合大分中部地域協議会の利光議長、林野労組林野退会大分支部の廣田支部長に出席いただき、連帯と激励の挨拶を受けました。

議事では、執行部より2023年闘いの経過、2024年度運動方針、2023年度決算報告、2024年度予算（案）について提案し、組合員の満場一致で承認・採択されました。

その後役員改選、大会スローガン、大会宣言においても承認されました。最後に新委員長の音頭で、組合員全員による団結ガンパローで閉会しました。

新体制は以下のとおりです
執行委員長 井上 和也
副執行委員長 山形 良平
書記長 武原 龍行
執行委員 中村 帝

意見を出しあいながらより良い分会に

当面の行動
12月9日 森林労連
12月12日 単産交流学習会
12月12日 連合九州ブロック代表者会議
（鹿児島市）
12月13日 分会書記長会議
12月14日 地本青女常任委員会（～15日）
12月20日 全国代表者会議
12月23日 地本団体交渉

全分会で大会終了し団結が深まる
～分会大会～



「匠の一言」
重機を駆使し、サッカー、バレー、ゴルフ練習場がようやく完成。あと小屋が必要な、時間ができたら着手しよう。



「鹿児島分会：岩下通信員」
 早朝から土砂降りに見舞われた10月19日、さつま町久富木において連合鹿児島、食とみどり水を守る県民の会主催によるアフリカ支援米の稲刈りが開催され、北薩分会から、白内、井手口、鹿児島分会からは、岩下、子供2名の計5名で参加しました。雨も上がり曇り空のもと、

冒頭、主催者を代表し連合鹿児島町会長より「6月の田植えの際におぼれていた苗も、台風や猪等の被害もなく去年よりも立派に生長し沢山の稲穂を実らせることができました。世間ではコメの値段が上昇しています。生産者に渡るお金は実際のところあまり増えていません。怪我の無いように一株一株のお米を大事に刈り取ってください。」との挨拶を受け参加者総勢50名は、稲刈りを開始しました。今年、田んぼも広がったことからバインダー(手押し)

稲刈り機が、3台も準備してあり子供から大人までバインダーでの刈り取り体験もすることができ参加者は、大粒の汗を流しながら、手鎌で稲を刈る人、バインダーで刈る人、刈った稲を束ねる人、束ねた稲を竹竿にかける人と、当初の予定では、昼食をはさみ3時間の予定でしたが、予定の時間よりも早く2時間ほどで作業を終えました。今回刈り取った稲は、乾燥して玄米約500kgの収穫を予定しており、約250kgを国内の集約先である東京へ1月頃発送その後マリ共和国へ送ることになっています。残り半分は、鹿児島県内の各子ども食堂へ送ることになっています。

「米不足も吹き飛ばす!!」
「アジア・アフリカ支援米 稲刈り」
鹿児島

あり、柴議員からは、国会議員の立場になって感じた「政治」について、貴重なご講話をいただきました。「政治」が以前より身近なものを感じ、「あきらめるのはやめましょう」という言葉から、どんなことにも挑戦する勇気ももらいました。講話の後には国会見学もあり、壮観

な内部の作りに感激しました。「政治」に完成はない、未完の象徴である銅像の立ってない台座はともかくよかったです。2日目は、初めに、労働政策研究・研修機構の呉学殊さんに労働組合の存在意義と課題についてご講話いただきました。日本の労働環境を他国と比較して考えることで、自分の現状をより一層理解できたと思います。次に、林野労組中央本部の鳴川康也書記長から国有林野の歴史と取り巻く状況をご講話して

学習と交流を深めるため 全国から多くの新規採用者が結集!

～2024年度新採労働学校～

「西都児湯分会：西村通信員」
 11月22日から24日までの3日間、全国の新採組合員が集まり、引率者含む総勢100名、九州からは25名が参加し、労働組合について学ぶため新採労働学校に参加しました。

1日目は、参議院議員の小沢雅仁議員・柴慎一議員の講話が



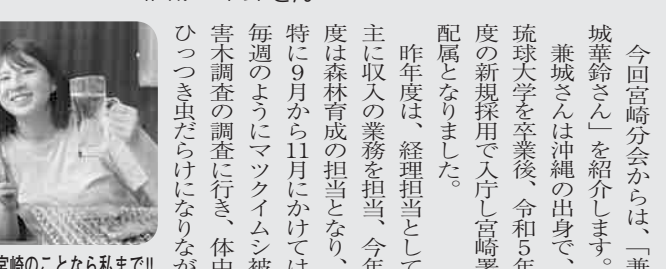
日頃入れない場所に笑顔で記念撮影!

3日目は、森林労連共済推進本部事務局長の水田勇司さんから挨拶があり、その後本部職員との石原史貴さんから保障についてご講話いただきました。社会人になりたてであり、保障についてよく知らなかったもので、とても勉強になりました。また、中央労働金庫の中山浩輔さんから、ライフプランニング・マネットラブル防止についてご講話いただきました。リボ払いや貯金に関する動画は思い当たる節があつて怖かったです。将来を考えて、お金について計画を立てようと思う機会になりました。

以上のような身になる講話や体験をさせていただきましたが、他にも、全国の同期や先輩とお話する分散会、交流会がありました。お互いの悩みや全国各地のお話を聞くことで、共感したり、新たな価値観に出会えたりしたので、参加できて本当に良かったです。今回学んだことを糧に、林野庁職員として、組合員として、社会人として、精進していきます。

あこのくんと

「1年で宮崎がホームに」
 兼城 華鈴さん(宮崎分会)



今回宮崎分会からは、「兼城華鈴さん」を紹介いたします。兼城さんは沖縄の出身で、琉球大学を卒業後、令和5年度の新規採用で入庁し宮崎署配属となりました。昨年度は、経理担当として主に入りの業務を担当、今年度は森林育成の担当となり、特に9月から11月にかけては毎週のようにマツクイムシ被害調査の調査に行き、体中ひつき虫だらけになりました。今後は、那覇マラソンに参加する予定で目標の完走にむけ日々練習を行っています。また、お酒も大好きで、毎週水曜日は、立ち飲み屋に一人で行き、宮崎の飲み友もたくさん出来(弁護士・大手企業の社長・外国人等)、充実した日々を過ごしているようです。今後も、持ち前の明るさと、行動力、飲みニケーション力を活かし、仕事と、組合活動で活躍して頂きたいです。(宮崎分会：山元通信員)

記事を募集しています!!
 分会で開催したいろんなイベントや会議、地域の集会等の記事を募集していますので、教宣担当のメールアドレスへ投稿をお願いします。
 E-mail sinrin14-kaku@siren.ocn.ne.jp
 (教宣担当)

【組合員の皆様へお知らせ】

地本団体交渉の日程が決定!!

九州地本では、職場の諸課題や労働条件の改善に向け、毎年この時期に団体交渉を実施しております。

組合員の皆様の働きやすい職場環境確立や、希望のある国有林野事業の推進を目指し、今回も交渉を進めていきます。

開催日程は以下のとおりです。

開催日：2024年12月23日

なお、交渉概要につきましては後日本紙に掲載します。

【お詫びと訂正】

林野労組九州11月10日号(225号)で記載した分会執行部体制一覧について、一部訂正がありましたので、お詫びして訂正いたします。

- 修正点は以下のとおりです。
- 分会執行部体制
 - 大分西部分会 委員長 中山 俊和
副委員長 蒲池 勝也
書記長 稲貝 友樹
執行委員 川野 等
執行委員 木下 昂大
 - 屋久島分会 木崎 慎一 × → 木崎 慎一 ○

詳しくはお近くのろうきんへ

プレミアム定期預金

取扱い期間 2024年9月9日(月)～2024年12月30日(月)

定期預金(満3年) **0.40%**

2024年12月30日までとなっておりますので、ご検討の方は、お早めにご相談ください!!
 ※新規資金のみでの取扱となります。

カーライフローン教育ローンキャンペーン

キャンペーン期間：2024年8月1日(日)～2024年3月31日(月)

年 **1.95%** (税込)

カーライフローン 年 **2.15%** (税込) → **2.45%** (税込)
 教育ローン 年 **2.35%** (税込) → **2.65%** (税込)